

- ・本資料は、当社の経営方針等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

# 2021年3月期 決算説明会資料

取締役社長  
新芝 宏之

2021年5月14日

岡三証券グループ



# 目次

1

2021年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

1

2021年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

# 前期の総括

1. リテールビジネス改革に注力
2. コロナ禍を奇貨として改革を加速
3. お客様の利益に貢献  
改革には追い風

# 決算のポイント

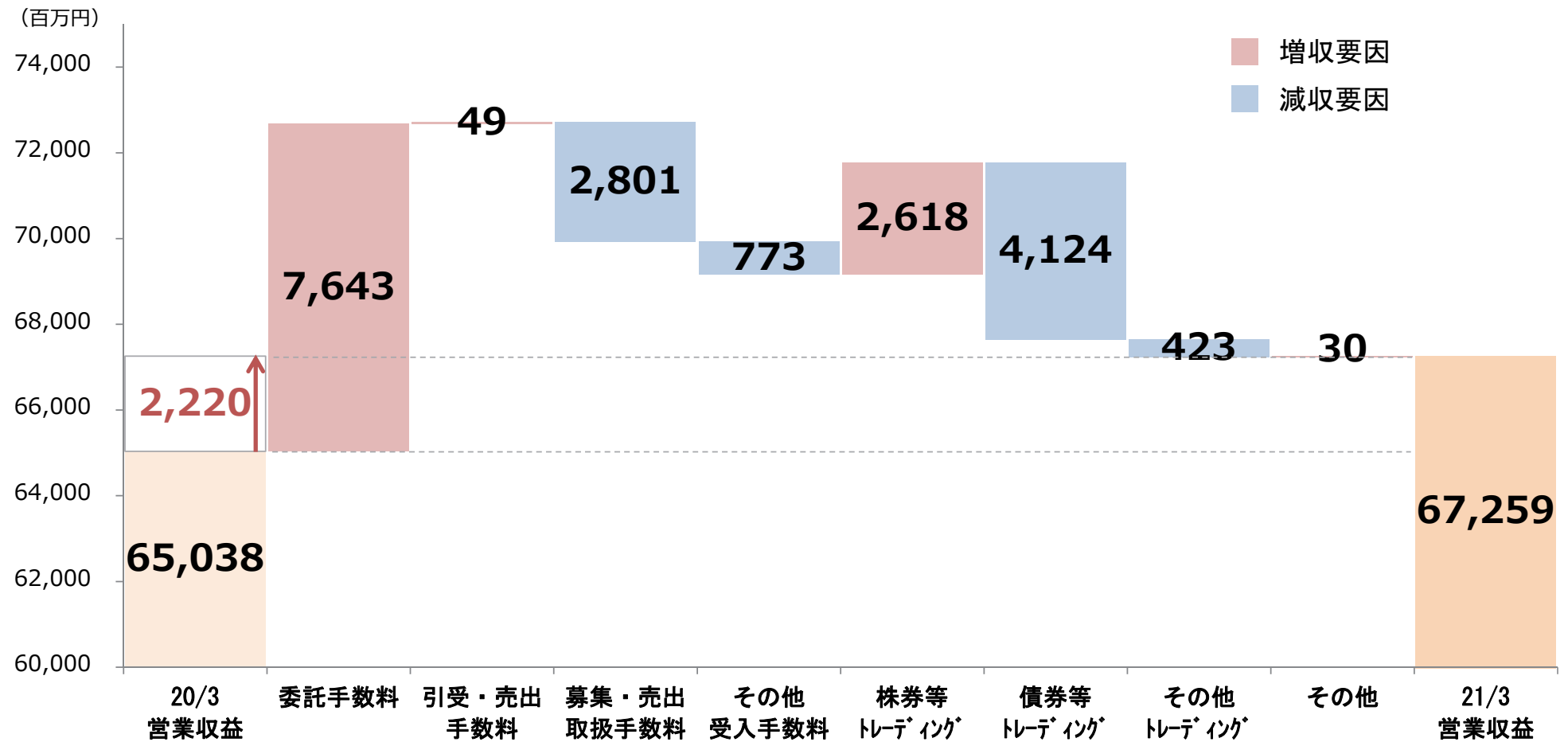
- ✓ 営業収益は前期比3.4%増  
国内株、米国株の売買増加が寄与
- ✓ 増収と販管費減少が寄与し、経常利益は同35.3%増
- ✓ 親会社株主帰属当期純利益は同65.9%増
- ✓ 証券ジャパン子会社化に伴う特別損益などを計上
- ✓ アライアンスも寄与し、口座数、預り資産とも増加  
期末92.1万口座、預り資産6.2兆円

# 決算ハイライト

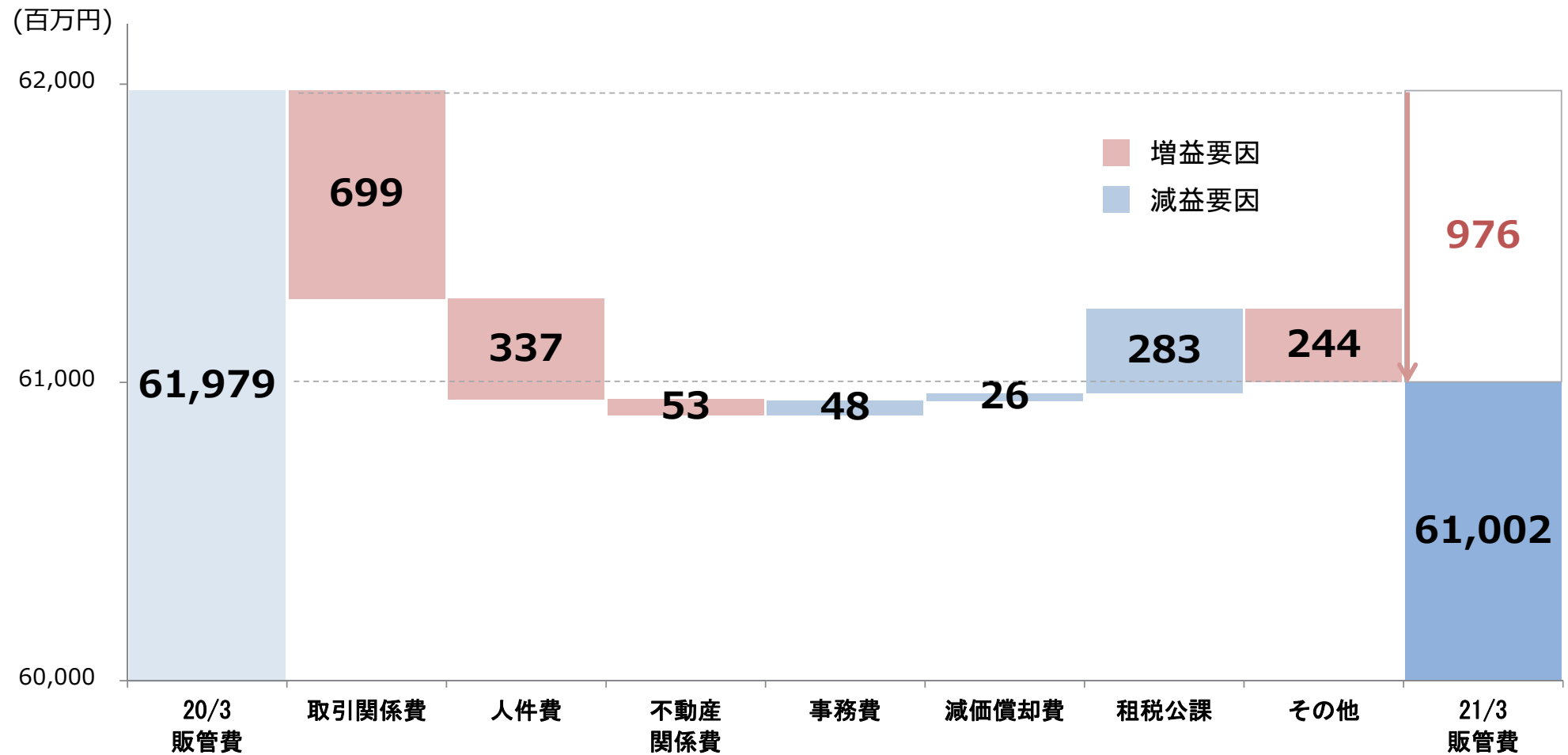
(単位:百万円)

|                 | 2020/3期 | 2021/3期       | 増減率    |
|-----------------|---------|---------------|--------|
| 営業収益            | 65,038  | <b>67,259</b> | 3.4%   |
| 純営業収益           | 64,052  | <b>66,109</b> | 3.2%   |
| 販売費・一般管理費       | 61,979  | <b>61,002</b> | ▲1.6%  |
| 営業利益            | 2,072   | <b>5,106</b>  | 146.3% |
| 経常利益            | 5,488   | <b>7,426</b>  | 35.3%  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,626   | <b>6,017</b>  | 65.9%  |

# 営業収益の変動要因（前期比）

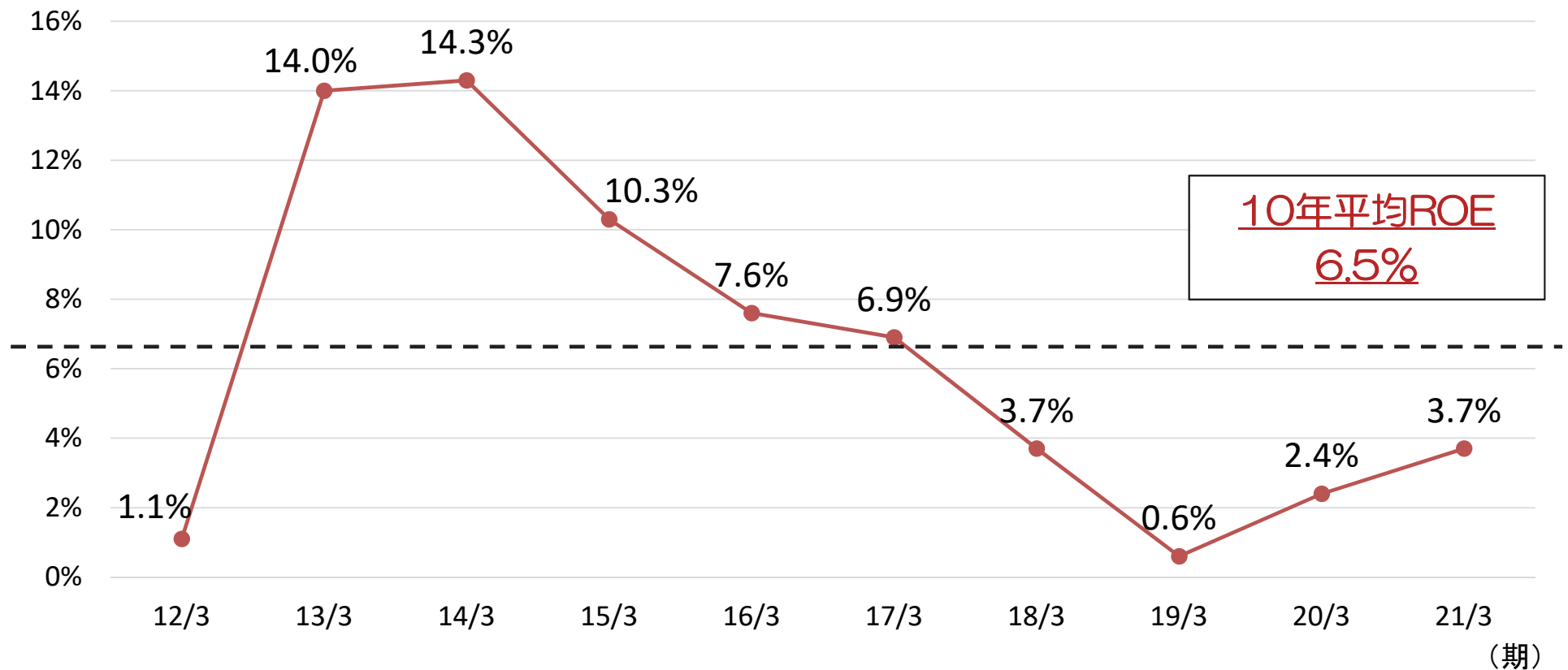


# 販売費・一般管理費の変動要因（前期比）





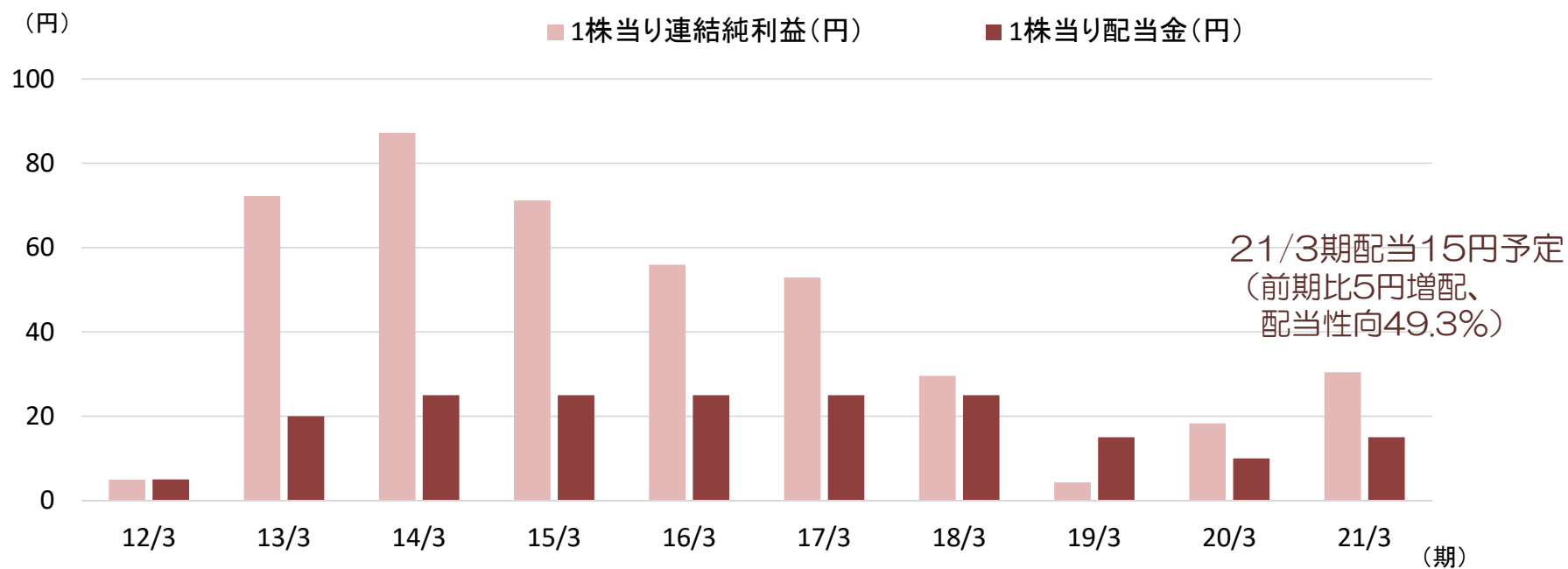
# 直近10年間のROE推移



# 配当政策

(配当基本方針)

安定的な配当の維持・継続を勘案しつつ、業績の進展に応じた配分を実施



1

2021年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

# 中期経営計画

グループ創業100周年を越えてもサステナブルな成長を実現するため、ステークホルダーとの相互信頼の確立を図る

## 経営哲学

お客さま大事

## 存在意義

証券のプロフェッショナルとして最適な資産運用サービスを提供し、  
お客さまの資産形成に貢献する

## 社会的使命

お客さまに対して  
投資アドバイスの  
プロフェッショナル集団

社員に対して  
より一層「誇り」を  
持てる会社

株主に対して  
期待に応える  
企業価値の向上

地域社会に対して  
地域社会への  
付加価値の提供

## 基本方針

### ① お客さま本位の サービス提供

お客さま目線のサービス  
提供により岡三流の  
お客さま本位を徹底

### ② シェアードバ リューの創出

グループリソースのプラット  
フォーム化による新たな  
収益源創出、コスト効率化

### ③ デジタイゼーショ ンへの取り組み

テクノロジーの活用による  
サービス革新・新たな価値  
の提供

## 《 対象期間 》

2020年4月～2023年3月

## 《 定量目標 》（最終年度）

|      |        |
|------|--------|
| ROE  | 10%    |
| 口座数  | 100万口座 |
| 預り資産 | 10兆円   |

# 中期経営計画

## 基本方針

- ① お客さま本位のサービス提供  
お客さま目線のサービス提供により岡三流のお客さま本位を徹底
- ② シェアードバリューの創出  
グループリソースのプラットフォーム化による  
新たな収益源創出、コスト効率化
- ③ デジタライゼーションへの取り組み  
テクノロジーの活用によるサービス革新・新たな価値の提供

# 中期経営計画

## 主なトピックス — ①お客さま本位のサービス提供

- ✓ C×（お客さま体験価値）戦略の浸透
- ✓ カンパニー制導入
- ✓ お客さまとの接点拡充のための店舗戦略（首都圏店舗の最適化）
- ✓ チーム営業制の導入
- ✓ お客さまニーズの把握、C×指標
- ✓ コア・サテライト戦略
- ✓ 法人ビジネス戦略
- ✓ 海外戦略

# 中期経営計画

## 主なトピックス ― ①お客さま本位のサービス提供

✓ CX（お客さま体験価値）戦略の浸透

✓ カンパニー制導入

2020年 4月 岡三とうきょう証券カンパニー設置（2021年4月 現名称へ変更）

2021年 4月 岡三みえ証券カンパニー設置

10月 岡三オンライン証券カンパニー（予定）

# 中期経営計画

## 主なトピックス — ①お客さま本位のサービス提供

- ✓ お客さまとの接点拡充のための店舗戦略（首都圏店舗の最適化）  
    サテライトオフィスのパイロット運営（新宿、大手町、虎の門）  
    統合拠点の設置推進（日本橋室町、大手町、虎の門、浅草）※本年10月予定
- ✓ チーム営業制の導入  
    パイロット運営を経て「チーム営業制」を全国展開（2020年10月～）



# 中期経営計画

## 主なトピックス — ①お客さま本位のサービス提供

### ✓ お客さまニーズの把握、CX指標

重点的な対面サービスを通じたニーズ深耕

コンタクトセンターを通じた活性化（インサイドセールスの強化）

CX指標の測定と評価活用

### ✓ コア・サテライト戦略

「岡三Naviハイブリッド」(※)提供開始（2020年9月）

バランス型ファンドの活用

※岡三Naviハイブリッド： ウェルスナビ(株)が提供する資産運用エンジンを活用した投資一任サービス

# 中期経営計画

## 主なトピックス — ①お客さま本位のサービス提供

### ✓ 法人ビジネス戦略

本支店間、本社部門間の連携強化

支店法人営業機能の統合・強化（東京、関西、東海、三重）

### ✓ 海外戦略

CGS-CIMB 証券（シンガポール）との業務提携（2021年1月～）

⇒ ASEAN 市場における株式注文執行体制および投資情報収集体制を強化

# 中期経営計画

## 主なトピックス — ②シェアードバリューの創出

### ✓ アライアンスおよびグループリソースの共有化

証券ジャパン : 株式追加取得により子会社化（2021年3月）

岡三にいがた証券 : 日産証券から新潟県内3店舗に係る  
一部事業譲受（2021年1月）

岡三オンライン証券 : 同業2社から「取引所CFD」口座を承継

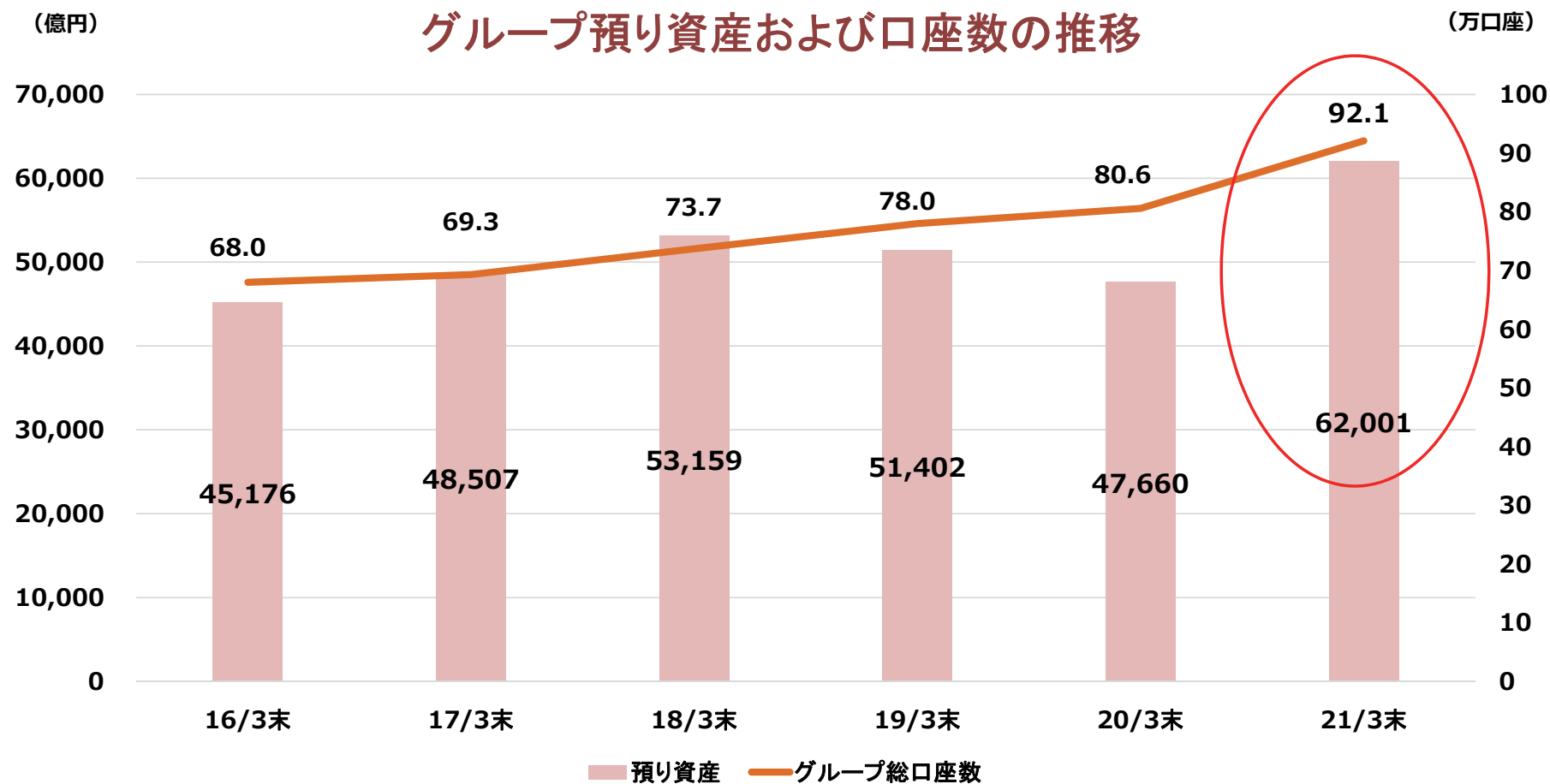
# 中期経営計画

## 主なトピックス — ③デジタルイゼーションへの取り組み

### ✓ 情報提供力強化、生産性向上

- デジタルイノベーション推進部設置（2020年4月）
- データ活用によるマーケティング推進
- リモートワーク環境整備
  - ⇒ モバイル端末配布、社内ネットワーク整備、グループウェア活用
  - ⇒ サービス向上、柔軟な働き方拡充へ

# 中期経営計画



1

2021年3月期の概況

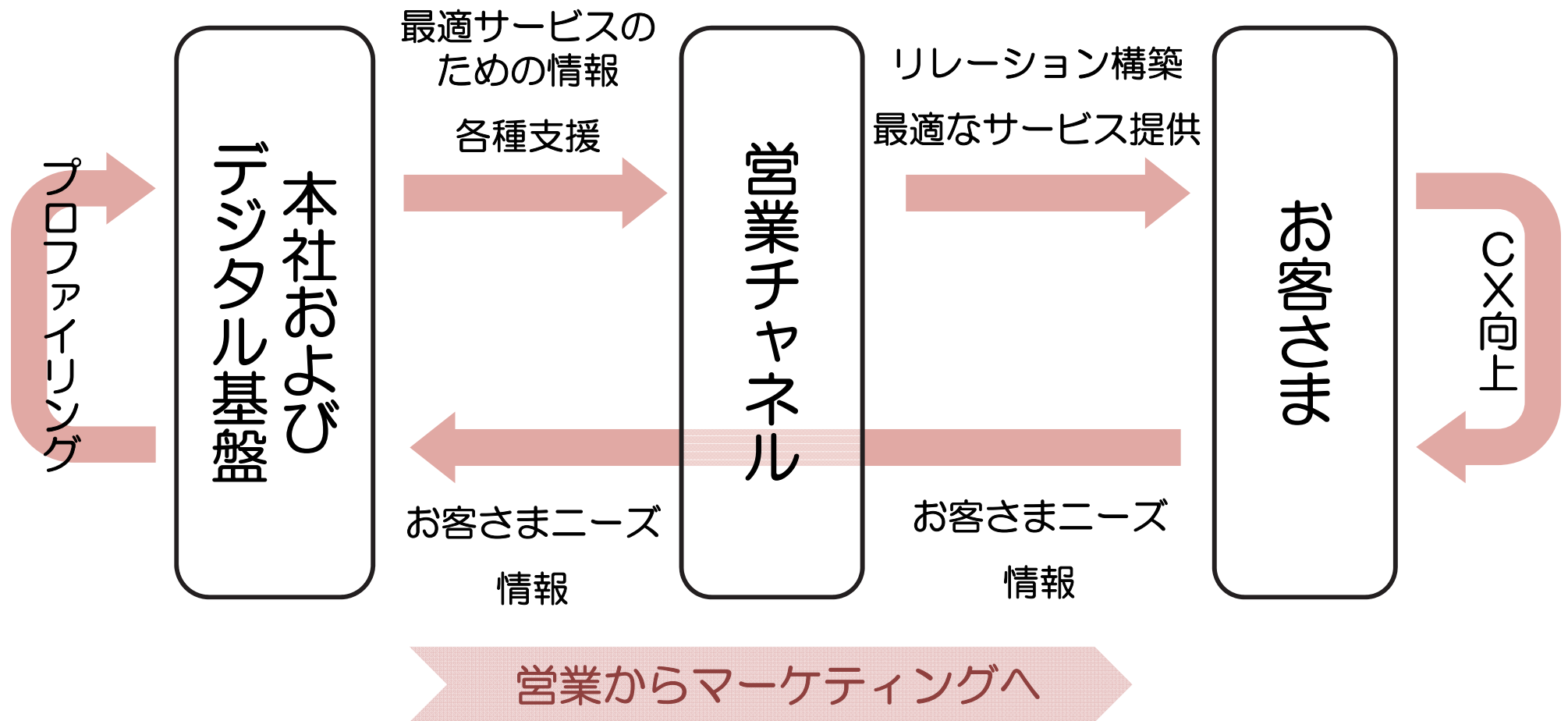
2

中期経営計画

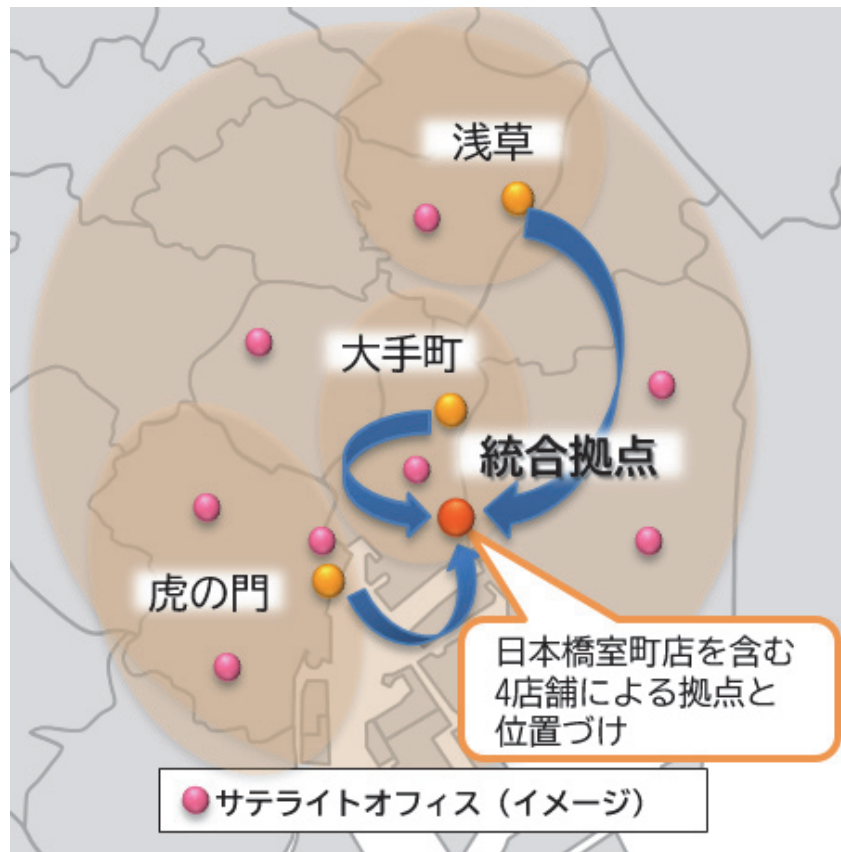
3

今期の経営のポイント

# お客さま起点のサービス提供



# お客さまとの接点拡充のための店舗戦略



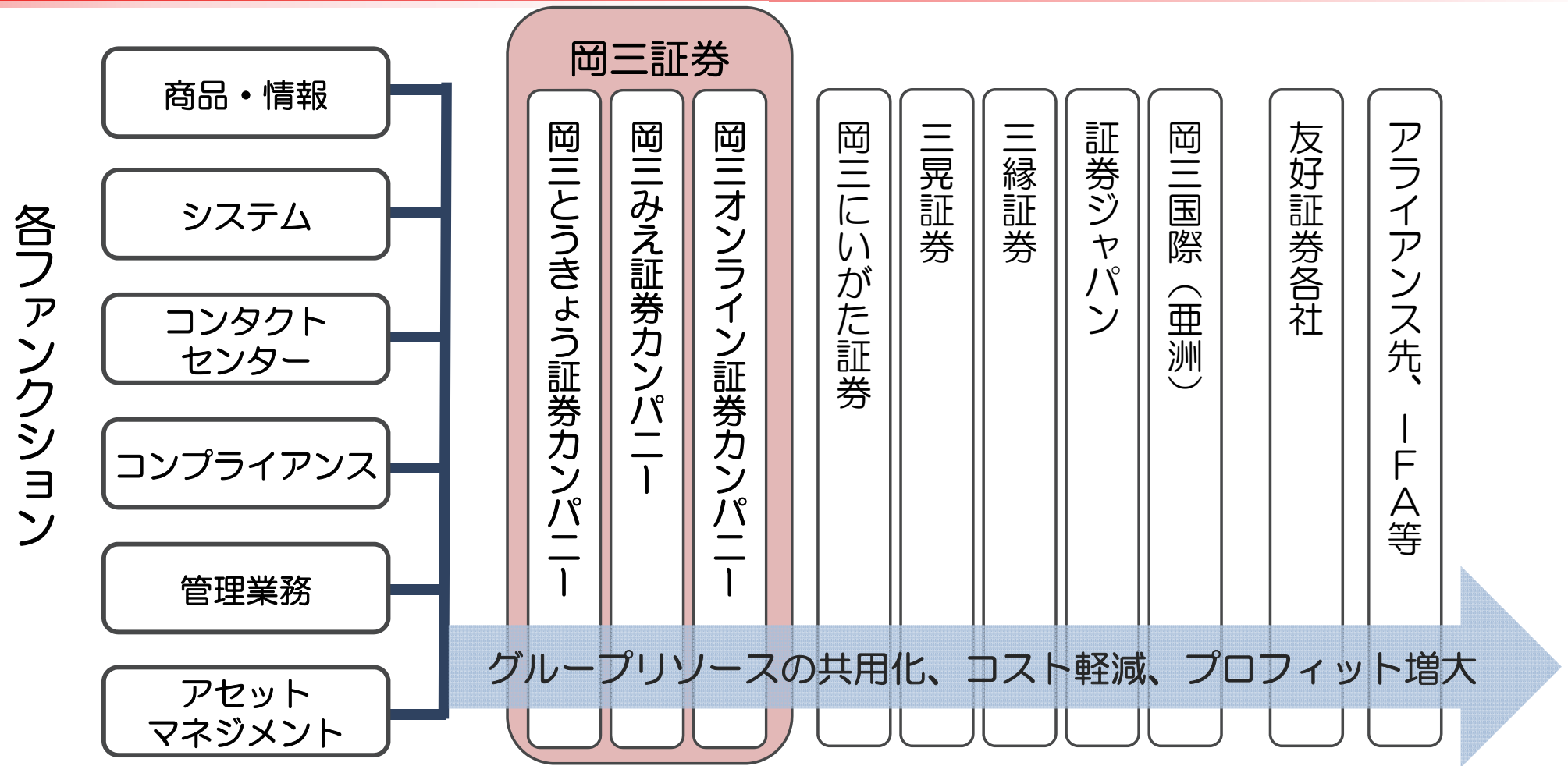
## < 実施方針 >

- 都内店舗の一部について、サテライトオフィス出店により拠点網を拡充。(順次)  
当該支店が同一拠点で営業する統合拠点を開設。
- お客さまにより近いエリアへのサテライトオフィス出店を進める。

対象エリアの拠点網を  
現状の2倍程度に拡大へ



# シェアードバリューの創出（強みを共有化）



# シェアードバリューの創出（強みを共有化）

各ファンクションをグループ内外へ展開

## 1. 証券ジャパンが当社グループの一員に

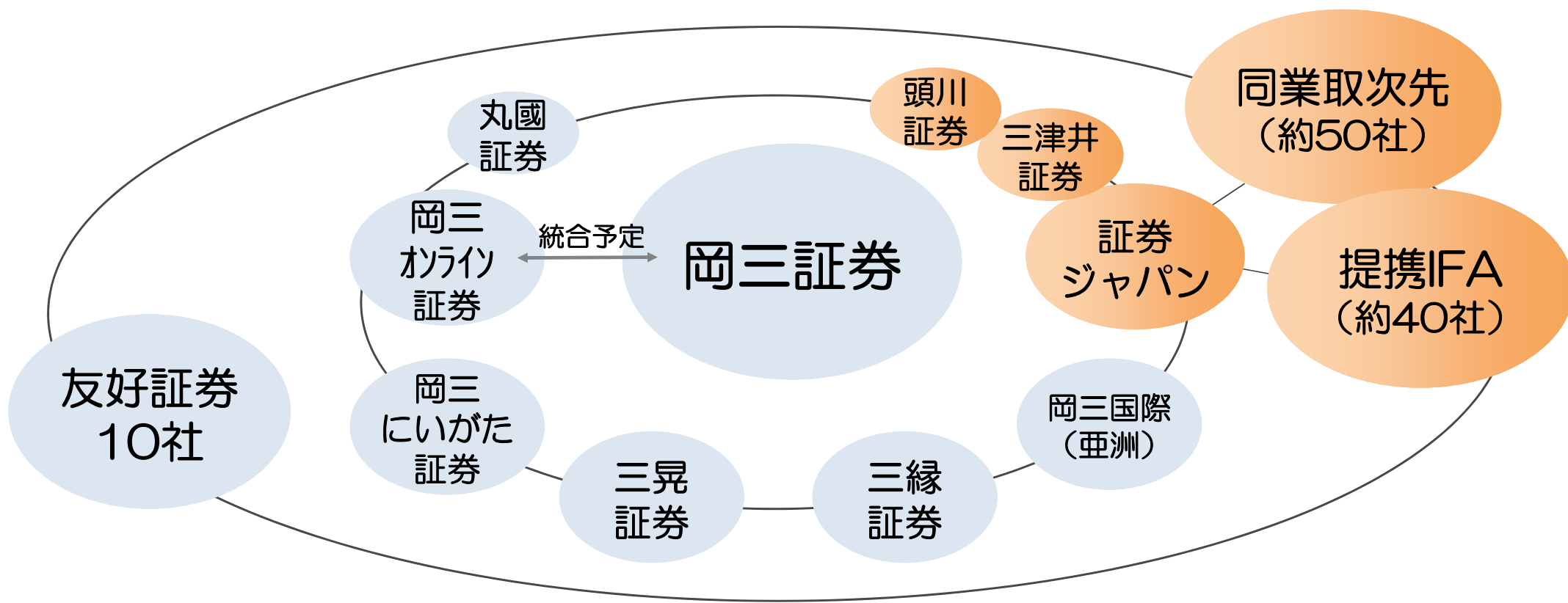
- 成長期待の高いIFAビジネスへのアクセスを確保
- IFA転換ノウハウ共有による事業再構築提案

## 2. 「岡三オンライン」証券カンパニー

- 独自性はそのままに、間接部門、データ等共有
- サービス領域拡大、サービスの質も向上

# 証券ジャパンの子会社化

## 「シェアードバリュー創出」と「多様性」



# 岡三証券と岡三オンライン証券の統合

## 岡三証券

(主な強み)

コンサルティング  
情報力・運用力 など

## 岡三オンライン証券

(主な強み)

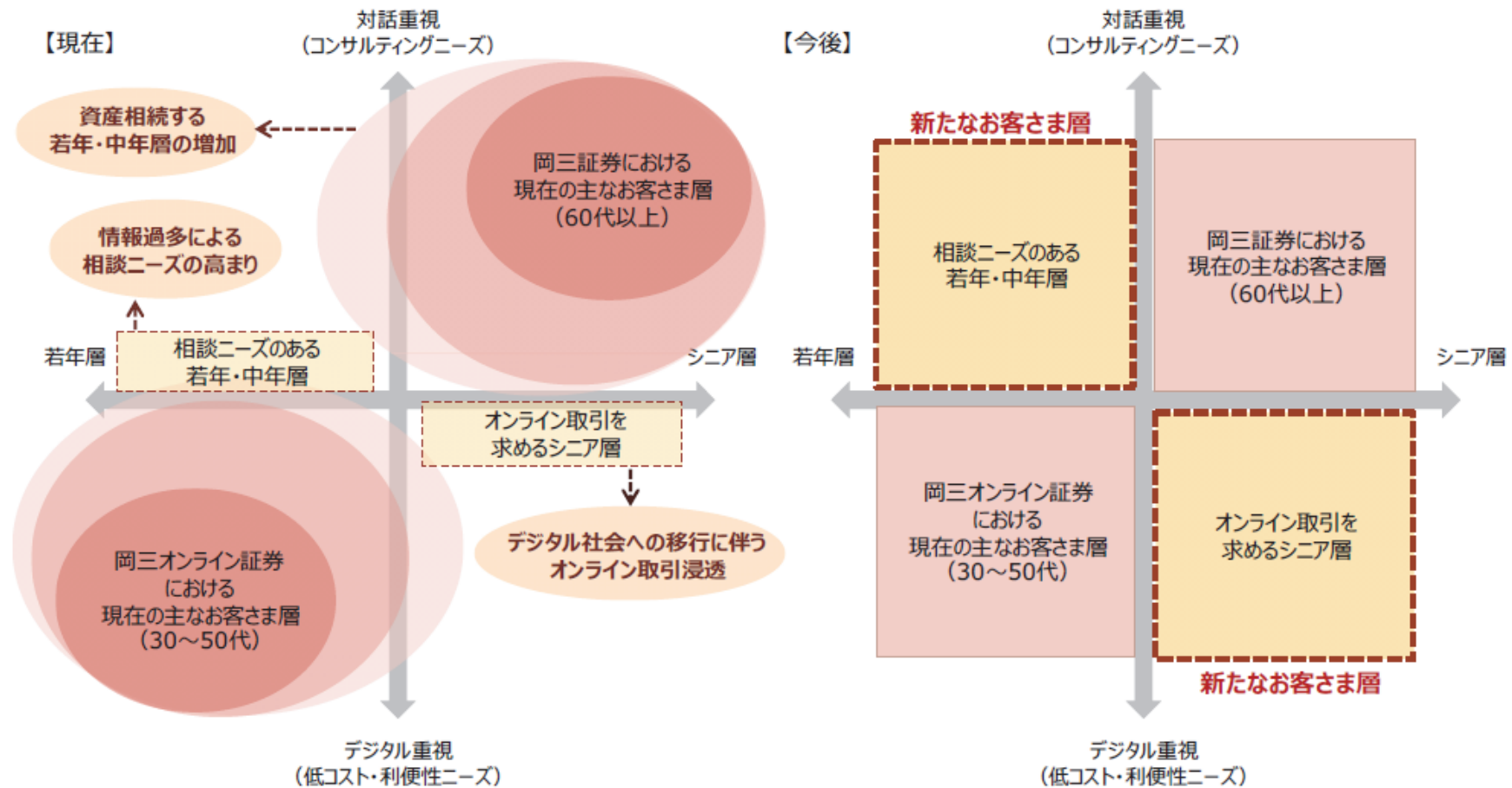
高機能トレーディングツール  
格安手数料 など

「オンライン取引を求めるシニア層」「相談ニーズのある若年層」など  
新たなお客さま層が拡大

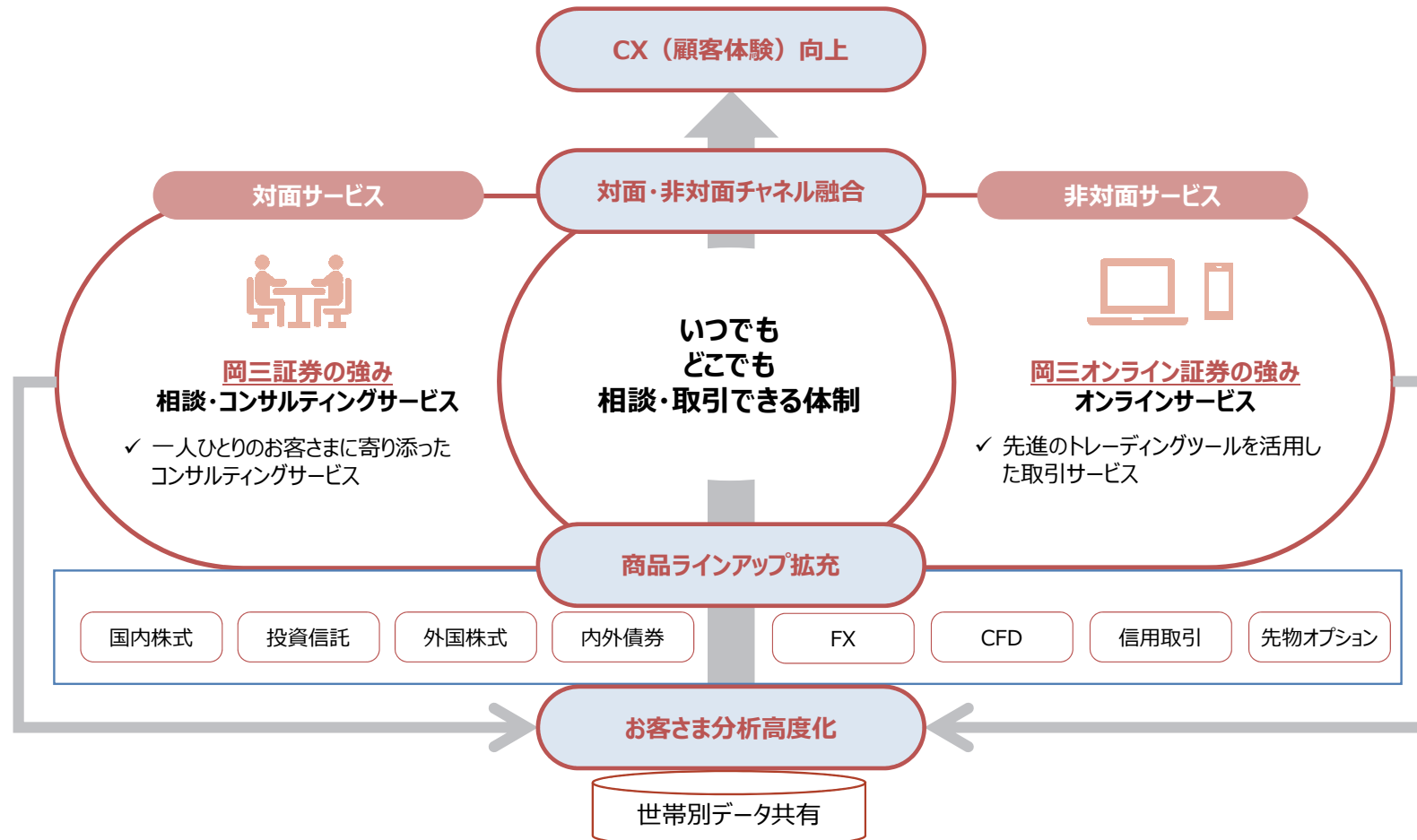


2021年度下期 経営統合  
「対面とネットの融合」による新たな付加価値創造

# 岡三証券と岡三オンライン証券の統合



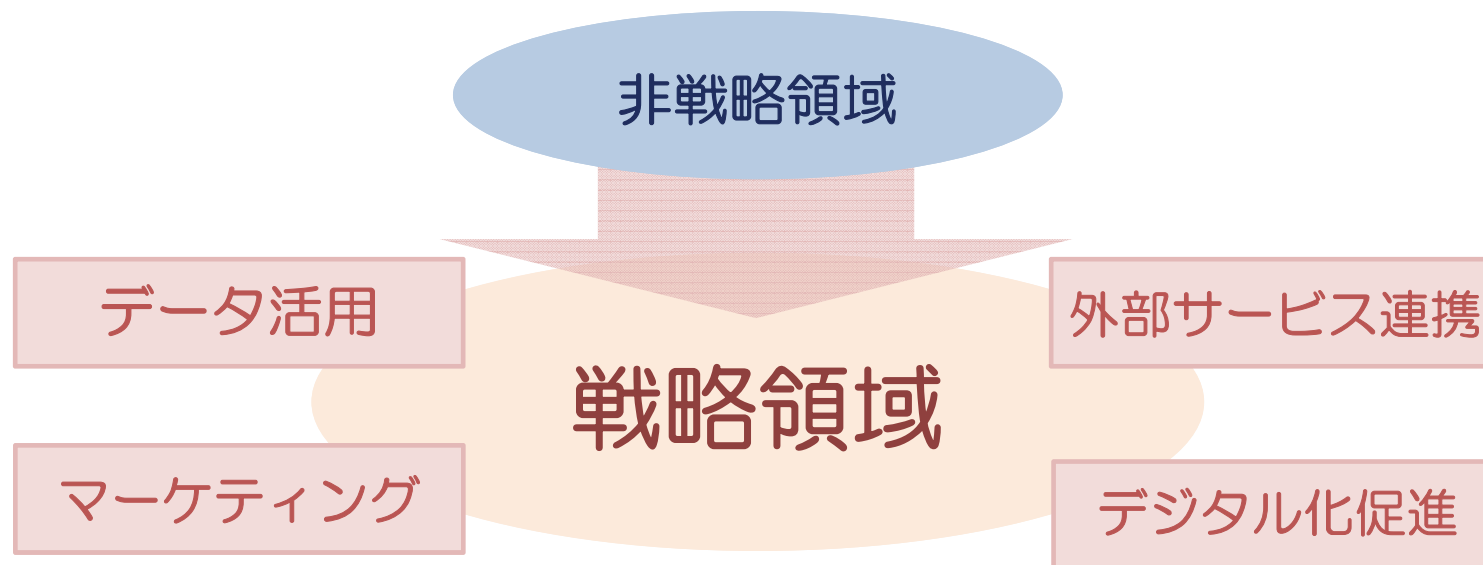
# 岡三証券と岡三オンライン証券の統合



# デジタル戦略

## 「非戦略領域」から「戦略領域」へのシフト

お客さまの体験的価値（CX）向上や直接的な差別化につながりにくい  
「非戦略系IT」から、人材、資金を「戦略系IT」へ。



# デジタル戦略

## 1. 証券基幹システムの移行

- 業界標準的なシステムをサービス利用する形態に変更  
(2022年度下期予定)

## 2. データ活用によるマーケティング推進

- データ活用を進め、One to One マーケティングを強化
- 対面、オンライン、コンタクトセンター、メールなど  
各チャネルの連携により最適なサービスを提供

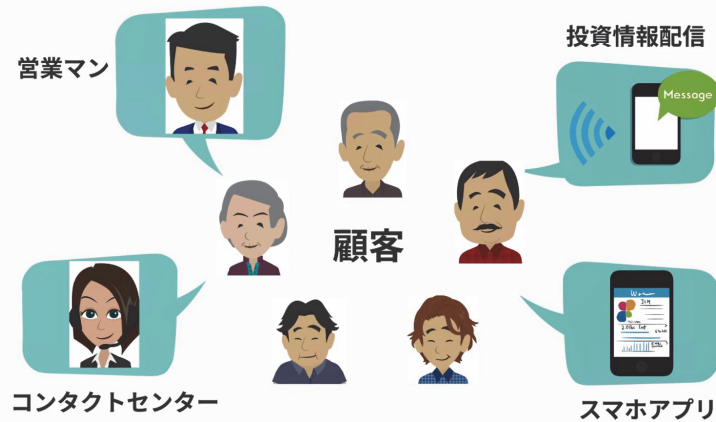
## 3. 柔軟な働き方の拡充

- リモートワーク環境の活用をさらに推進  
サービス向上および柔軟な働き方の拡充へ



# (参考) マーケティング・オートメーション活用

オムニチャネル接触履歴管理  
すべてのお客さま接点でのデータを分析・活用



CRM  
統合顧客データ

MA  
セグメントデータ、  
直近の行動データを  
基にシナリオに  
合わせた情報提供

営業社員、  
コンタクトセンター等  
へフィードバック

お客さまが  
必要としている  
サービスを  
最適なタイミング  
で提供

CX  
向上

効率的な営業の実現に向け  
4月から実証実験を開始

# 2年後の創業100周年を越えた視点として

## 1. 拡大成長戦略

- 証券ビジネスは中長期的に高い成長ポテンシャル
- 縮小均衡とは一線を画し、独自の拡大成長戦略を選択

## 2. 「伝統」と「革新」

- 営業改革、シェアードバリュー、デジタライゼーションなど各分野で革新を継続
- 革新を通じて「お客さま大事」の伝統を守る

## 3. 社会的存在意義

- 資産運用にかかわる付加価値の提供
- サステナブルな社会・経済のためのマネーの流れ創出  
(投資家教育、若年層の資産形成に貢献する施策を含む)

問合せ先： 株式会社岡三証券グループ  
広報IR部

住 所： 〒103-0022  
東京都中央区日本橋室町2-2-1

T E L： 03-3275-8248（広報IR直通）

U R L： <https://www.okasan.jp>